



小中一貫コミュニティ・スクール 義務教育学校 宗像市立大島学園

学校通信「考動」

令和7年9月5日
第10号
文責 校長 阿部龍彦

【大島学園コミュニティ・スクール目標】

大島を愛し、自分で考え 責任をもって行動する子ども

〒811-3701 福岡県宗像市大島1163-1 TEL72-2024 FAX72-2756
大島学園ホームページ<https://www.city.munakata.lg.jp/school/s020/>



8/25 学園運営協議会（第3回）の報告

大島学園コミュニティ・スクールでは年に一度学園運営協議会において、学園の子ども達や多くの地域の方々が参加して、「熟議」を行っています。

R5は、「どんな大島にしたい?」、R6は、人口が減り、高齢者が増えてきた「大島の未来をどう創っていく?」を熟議題として話し合ってきました。

そしてR7は、児童生徒会テーマ【結（ゆい）：人と人がつながり、学校と地域が結び合う大島に】を実現するために、「自分たちができる活動は何かを、地域の方からアドバイス!」というテーマで、グループ熟議をおこないました。



《Aグループの振り返り》 【9年 佐藤 来飛 児童生徒会会長】

「運動会」について話し合いました。地域の人たちにもっと参加してほしいと思ったのですが、なかなか来られない理由があるんじゃないかと考えました。課題として挙がったのは、運動場までの距離が遠いことや、そもそも運動会に来る目的が少ないということです。地域の方々が少しでも「行ってみようかな」と思えるような目的を増やすことが大事だと思いました。特に、高齢者の方が参加しやすくなるような工夫が必要です。

【7年 佐藤 由萌 児童生徒会】

お年寄りの方が無理なく参加できる取組として、例えば会場の案内を分かりやすくしたり、席までスタッフが案内したりすることが考えられます。また、足の悪い方でもできるように、ラジオ体操をゆっくり行う時間を設けたり、観覧席にはペットボトルではなく、自分たちで開けやすいタイプのお茶を用意したりするなどの配慮も良いと思います。さらに、子どもたちから笑顔で声をかけるなど、温かい雰囲気づくりも大切です。「来てよかった」と思えるような、そんな運動会にしたいと思いました。

地域からのたくさんのご参加、ありがとうございました

当日は、学園運営協議会委員の他に、以下のオブザーバーの方々も参加していただきました。

- ・小樋喜登（堂ノ前区長）さん ・丸井義明（西区長）さん ・中村昌史（県経済新聞）さん
- ・遠藤直子（民生委員）さん ・河辺健治さん・林田正美（大島村商店）さん
- ・平川かずよ（大島はばら）さん ・上田大地（さつき会）さん ・齋藤元孝（県議）さん

男子バレー部 9年生の2人 ～最後の大会を終えて～

夏の大会が終わり、3年間の思いを胸に完全燃焼した9年生の2人に「3年間のバレー部活動を終えて、今思うこと」を語っていただきました。

■9年 佐藤 来飛

3年間バレーボールをして、先生やコーチ、保護者の方々、合同チームを組んでくれた城山中学校など、携わってくれた方々には感謝しかありません。目標としていた結果は残せなかったけれど、バレーの楽しさや礼儀など、たくさんの事を学ぶことができました。この経験を胸に、高校生活やこれからの人生に活かしていきたいです。3年間ありがとうございました。

■9年 中村 太一

3年間バレーボールをしてきて、たくさん怒られることがあったけど、それでもあきらめず、最後までやりきることができて良かったな思いました。また、城山中の生徒、保護者さんたちのおかげで、とても楽しいバレーをすることができました。外部コーチの真平さんも、練習試合をたくさん組んでくださったおかげで、自分の課題にも気づくことができました。この3年間楽しい思い出ができました。ありがとうございました。



大島学園にキャラクター誕生!!

総合文化部の陽愛羽さん、由萌さん、結月さんが、大島学園のキャラクターを創ってくれました。その名は…「あまにゃん」

（大島特産甘夏と大島学園の猫「ビビ」をイメージ+大島ワカメ、ウニ）

制作では、アートディレクターの杉山さん、ブッタちゃん（共に東京ペンギン島所属）が、その指導にあたってくれました。

